

NAGASAKIから世界へ「平和を」

被爆医師 永井隆と妻 緑からのメッセージ



2号館1階にて
写真展
同時開催!

ウクライナでの戦争における核兵器使用の脅威が高まる中、被爆国日本からのメッセージの発信は急務となっています。

原爆の荒野で妻を失い、被爆者達のために献身的救助を行い、多くの著作を残した医学者、永井隆。今彼の生涯と著作は世界中で再び注目を集めています。

本シンポジウムでは、イタリア、アメリカ、日本の研究者が共に、永井隆の「平和を」のメッセージを現代に伝え、希望ある世界を築くための可能性を探ります。

プレゼンテーション

片山はるひ 上智大学神学部教授

パネルディスカッション

ガブリエレ・ディ・コミテ

アストラゼネカ日本法人 メディカルディレクター / 永井隆と緑の友の会会長
パウラ・マレンコ

医師、イタリア「医学と人間」協会副会長 / 永井隆と緑の友の会副会長
チャド・ディール

バージニア大学インストラクショナルデザイナー / 日本史家
片山はるひ (司会兼パネリスト)



ガブリエレ・ディ・コミテ



パウラ・マレンコ



チャド・ディール



片山 はるひ

日時: 6月3日(土) 15:00~17:00

会場: 上智大学四谷キャンパス2号館1702会議室またはオンライン

言語: 日英(同時通訳あり)*

対象: 学生・一般(無料・要事前申込)

*通訳音声はZoom視聴時に限り利用できます。通信に係る機器、費用はすべて参加者のご負担となります。会場でスマートフォン等からZoom音声を聞く場合は必ずイヤフォンを持参してください。

このイベントに関するお問い合わせは un-weeks-co@sophia.ac.jp まで

来場参加
申込
定員120名



オンライン
参加申込

